



図書館だより

宮城県
仙台三桜高等学校
図書委員版 No.4
2022.07.20

↑蔵書検索QRコード
サンプル

《書店めぐりで選んだ本の紹介》

今号と次号は、図書委員広報係の作品です。

図書委員広報係が文章とポップで「書店めぐり」で選んだ本を紹介してくれました。
図書館内と昇降口ホールに、ポップを展示しています。「読んでみたい」と思える本がきっとあるはず。ご覧になってください。

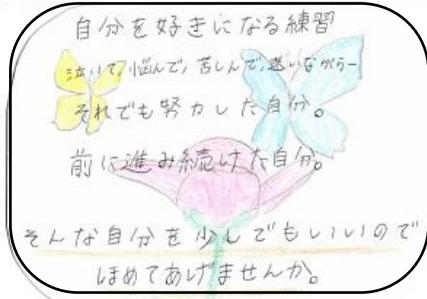
※書店めぐり・・・図書委員が書店で、図書館に入れる本を選ぶ行事。年に2回実施。

夏季特別貸出 実施中

一人5冊まで
8/25 (木) 返却

図書館だよりは、
学校HPで公開中。
ポップをカラー
で見ることができます。

『わたしの
幸せな結婚』⇒



『自分を好きに
なる練習』

『わたしの幸せな結婚』 顎木あくみ (著) 富士見L文庫

一ページ一ページとページを進めるうちに、だんだんと物語の世界観に引き込まれ、自分も二人の恋を応援している気持ちになる作品です。

「恋愛小説が読みたい!」「ファンタジーが読みたい!」そんな気持ちを同時に満たす作品は中々ないので、は?

〜あらすじ〜

家族から虐げられ、自らの家に居場所が無い少女、美世。彼女はある日、父から嫁入りを命じられる。実家から追い出され、他に行くべきところもない美世は、冷酷と評される婚約者の清霞と生活を始める……

『自分を好きになる練習』

矢作 直樹 (著) 文響社

人間は無理に自分を好きになろうとしてもなれません。そんな時は自分の体に「ありがとう」と感謝することから始めましょう。普通に生きているだけで私たちが奇跡そのもの。とても幸せなことなのです。

この本を読むと心が救われていきます。

『変な家』 雨穴 (著) 飛鳥新社

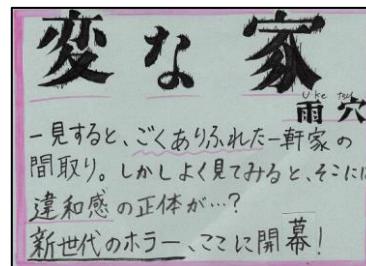
みなさんは間取り図をじっくり見たことはありますか? ごくありふれた一軒家の間取り図が、「何かがおかしい」と筆者のもとへ持ち込まれる。そんな特筆すべきことはないように思われることから、次々とこの間取り図の違和感が浮き堀りになっていきます。まだまだ暑い夏のお供に、1回手に取ってはいかがでしょう?

『すべての季節に君だけがいた』 春田モカ (著) スタツ出版文庫

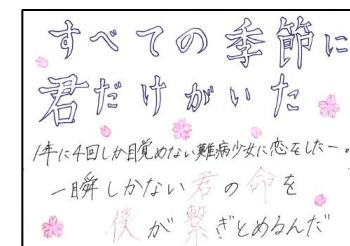
「延命治療のため、年に四週間しか起きていませんが」よろしくお願ひします」という衝撃の一言とともに、ずっと休学していた青花が緑の前に現れた。あることがきっかけで、彼女と放課後一緒に過ごすことになり、お互いに惹かれあっていくが……。過去が原因で世界を閉ざして今を生きた緑、四季の中の優い四週間で必死に命を燃や青花、「今」を全力で生きる彼女との期限付きの恋の結末とは?

『思わず考えちゃう』 ヨシタケシンスケ (著) 新潮社

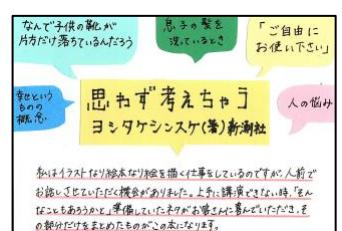
「なんだかスマホを見るのが飽きたなあ。」「本は読みたいけれど、文字だらけの本は嫌いだなあ。」こんな時、この本がおすすりめです。日常の場面場面で、「なんだか気になるけれど」言葉にはできない事がありますよね。この本は、そんな私達の気持ちを代わりに記してくれています。「ワ時ってくっ下したい。」私は筆者と同じ事を考えていて、とても驚かされました。



変な家



『すべての季節に君だけがいた』



『思わず考えちゃう』

続きはウラへ



『今日も言い訳しながら生きてます』

ハ・ワン(著) ダイヤモンド社

36個の「言い訳」をテーマにした、筆者の経馬を交えたくすくす笑える楽しいお話です! 人生辛いことも多いけれど、適度な言い訳をしながら生きていくのはラクで楽しい! これを読めばあなたも自分らしく楽しく生きる方法が見つかるかも知れません。

『心霊探偵ハ雲 魂の素数』 神永学(著)

講談社

霊をみる事ができる左目を持つ大学生の斎藤ハ雲と、何でも数字に当てはめて考える大学の准教授の御子紫岳人が、さまざまな心霊現象と思われた事件を解決していく。「心霊探偵ハ雲」シリーズの最新話。

『ほっといて欲しいけど、ひとりはいや』

寂しくなくて疲れない、あなたと私の適度に近い距離佳

ダンシングスネイル(著) 生田美保(訳) CCCメディアハウス

「近すぎても疲れるし、遠すぎても寂しい。」「積極的と消極的のあいだ、丸のどこらへんかで生きています。」など共感できるフレーズがきつと見つかるはず! このように「人との距離感や心」が書かれているエッセイです。

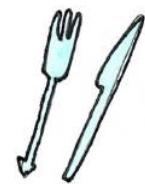
『夏休みの空欄探し』 似鳥鶏(著) ポプラ社

「役に立たないこと」が好きな成田頼伸(ライ)と「役に立つこと」が好きな成田清春(キヨ)は性格が反対で関わる事がほとんどなかった。偶然が重なり2人は姉妹2人の謎解きを手伝うことになる。4人が謎解きをしていく中で発見したものとは...

『「育ちがいい人」だけが知っていること』

諏内えみ(著) ダイヤモンド社

いまさら聞けない正しいマナー。スマートな大人への第一歩をこの一冊と共に始めてみませんか。あなたの理想の「育ち」を踏み出しましょう!



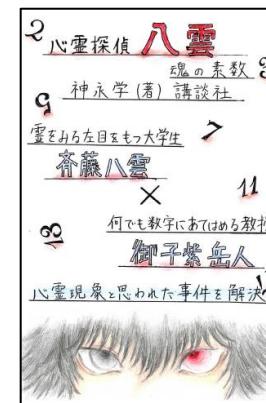
パンをおぎった面は自分に向ける

スマートな割り箸の仕方

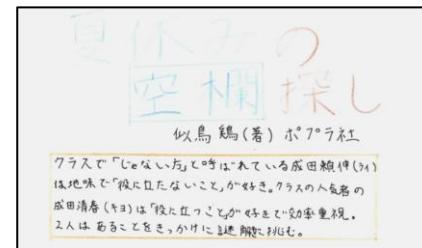
会話中に目を逸らすのは失礼?



義理ママのお願いにどう応えるか



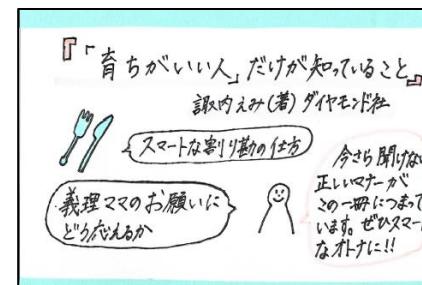
『心霊探偵ハ雲 魂の素数』



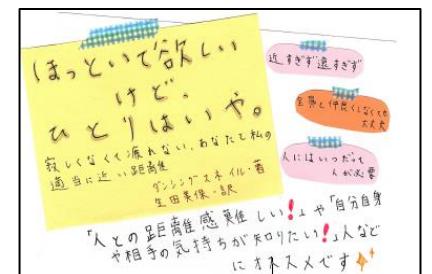
『夏休みの空欄探し』



『今日も言い訳しながら生きてます』



『「育ちがいい人」だけが知っていること』



『ほっといて欲しいけどひとりはいや』